

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月3日

【評価実施概要】

事業所番号	3891300075		
法人名	医療法人明生会		
事業所名	グループホームこもれびの家		
所在地	四国中央市下柏町54番 1		(電話) 0896-23-2427
管理者	加地 正子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成21年2月6日	評価確定日	平成21年3月3日

【情報提供票より】 (平成21年1月15日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成20年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	5人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.6人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額) 利用状況により異なる	
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成21年1月15日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1	1 名	要介護 2	2 名
要介護 3	4 名	要介護 4	2 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 85.7 歳	最低 79 歳	最高 92 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

お正月には福笑いをしたり、初詣に行かれたり、節分には豆まきをされたり、巻きずしを皆で巻いておられる。又、ご自分の部屋のお花を選んで生けたり、読書の好きな方のために居間の本棚に本を準備され、その中から選んで読書がされていた。
 食事一連の流れの中で、利用者の出来ることや興味のあること等に、かかわれるよう支援されている。職員も利用者と同時に席に着き、一緒に食事をされていた。食材の話題や外の景色のこと等、会話が弾んでいた。今日の献立は、ホワイトボードに書かれてあり、食事前から話題が上がっていた。
 職員は「利用者の気持ちに添えるよう」心がけておられ、個々の性格等も理解して接しておられる様子がうかがえた。又、明るい笑顔でやさしく対応をされていた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・はじめてサービス評価に取り組みました。開設から一年間、利用者の排泄の自立に向けた支援に特に力を入れて取り組みました。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・職員全員が自己評価全項目に取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、「職員個々のアイデアや意見を聞く機会となった」、「個々の受け止め方の違い等を知る機会となった」と話しておられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・2か月に1回会議を開催し、事業所の活動報告をされたり、職員が外部研修で得た内容等について発表されている。又、利用者、ご家族、法人代表者も参加され、地域の方から等、ご意見や質問等もいただきながら話し合われている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・誕生日にはご家族も招き、一緒にお祝いされている。又、家族会の開催については、場所や食事について、ご家族からも意見をいただき、開催の協力をいただいている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・公民館行事や市の産業祭に出かけ地域の方と交流されたり、近隣にある同法人のデイサービスとの交流等もされている。又、散歩に出かけ、近所の方とあいさつを交わすことにも努めておられる。調査訪問時、お隣の住人の方が野菜を持ってきてくださっていた。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームこもれびの家

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

加地正子

評価完了日

平成 21 年 1 月 10 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			『利用者さま、ご家族の笑顔と安心を求めて』 「いつも一緒・楽しく・ゆっくりと」 「明るいあいさつを心がけます」を理念とし利用者さまの個性を理解し、その人らしく張り合いのある暮らしが続いていけることを支援しています。		理念のひとつに「明るいあいさつを心がけます」を掲げ気持ちの良いあいさつをし、地域の方と共に生活できるよう努めている。
			(外部評価)		
			開設時に職員で事業所の理念を作成され、地域の方とも明るいあいさつを交わし、交流を深められるよう取り組まれている。		さらに、貴事業所が地域の中の「地域密着型サービス事業所」として特徴を活かしながら、どのようなことに取り組んでいくのかということを広く伝えていかれてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念に基づいたケアが出来るよう、ミーティングで話し合い、目に付く場所に掲示している。また、今年度の目標「利用者さんの思いを知る。大きな耳・小さな口・優しい目」を掲げケアに取り組んでいる。		毎日自己の介護を振り返り、理念が実践できているか反省し、また職員間でも気がついた時はお互いに注意できるよう取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			管理者や職員は、日々「大きな口、小さい耳になっていないか」等、利用者個々への対応について理念に沿って確認をされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を見やすい所に掲示し、家族にはお便りで、地域の方には運営推進会議で説明させて頂いた。パンフレットにも記載している。		運営推進会議を通し理解が得られるよう働きかけているが、これからも、ホームに来られた方々にも説明し、理解して頂けるよう取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 自治会に入り、買い物、散歩時に、気持ちの良い挨拶を職員全員が心がけている。		隣の方から野菜の作り方を教わり、収穫した野菜を頂いたり、日々交流させて頂いている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議や自治会の回覧板にて地域の行事を教えて頂き、出来るだけ参加している。 (外部評価) 公民館行事や市の産業祭に出かけ地域の方と交流されたり、近隣にある同法人のデイサービスとの交流等もされている。又、散歩に出かけ、近所の方とあいさつを交わすことにも努めておられる。調査訪問時、お隣の住人の方が野菜を持ってきてくださった。		地域の行事（盆踊り・公民館まつり・秋まつり）に参加することにより、そこで知り合った方々（大正琴・フラダンス）に慰問に来て頂くことができた。今後も積極的に参加していきたい。 さらに、今後も地域の方達とのおつきあいから、利用者個々が地域の中で生活を拓げていけるよう、取り組んでいかれてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現状では出来ていない。		運営推進会議等で地域の方々の意見を聴かせて頂き、出来ることがあれば取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を行う意味について話し合い、意義は理解出来ている。自己評価は全員で行い、日々のケアを振り返る機会となり、気づきを活かし、より良いケアが出来るよう取り組んでいる。 (外部評価) 職員全員が自己評価全項目に取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、「職員個々のアイデアや意見を聞く機会となった」「個々の受け止め方の違い等を知る機会となった」と話しておられた。開設から一年間、利用者の排泄の自立に向けた支援に、特に力を入れて取り組まれた。		評価結果を話し合い、改善できることから取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			ホームでの生活状況や問題点等の報告や話し合いを行い、助言や地域の情報を得ている。報告書は参加者、家族に配布している。		会議ででた意見を職員間で話し合い、サービス向上に活かし、取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			2か月に1回会議を開催し、事業所の活動報告をされたり、職員が外部研修で得た内容等について発表されている。又、利用者、ご家族、法人代表者も参加され、地域の方から等、ご意見や質問等もいただきながら話し合われている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			月に1回ふれあい相談員さんの訪問がある。		ホームのお便り等を送り現状を知って頂けるよう取り組んでいきたい。(アクシデントの報告に行った時、相談に乗ってくださる。)
			(外部評価)		
			運営推進会議時「地域包括支援センター」の機能について話して下さったり、事業所の課題等を相談し、アドバイスをもらっている。介護相談員の方の訪問があり、利用者とともに作品作り等がされている。		さらに、ホーム便りを市の担当者にも見ていただけるよう、取り組んでいくことを検討されていた。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修等には出来るだけ参加するようにしている。現在活用されている方はいない。		今後も研修に参加し、必要な方に説明できるよう、学習の機会を持ちたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修等に出来るだけ参加し、学ぶ機会を持っている。また新聞などの情報を職員間で話し合っている。		申し送りやミーティング等で話し合いの場を持ち虐待防止に努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、重要事項説明書などで説明を行い、理解・納得を頂いている。また、利用者・ご家族の不安、疑問点を聞き取り説明している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 寄り添うケアにより利用者の思いを引き出せるよう努めている。意見や不満などはその時々に対応している。ふれあい相談員さんの訪問もあり意見を聴き、職員間で話し合っている。		不安や不満を解消できるよう利用者の声や表情を見逃さないように注意したい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ホーム内の様子や健康状態について面会時にお話し、電話や毎月のお便り（写真入り）にて報告している。金銭出納帳（お小遣い）のコピーも同封している。		
			(外部評価) 毎月のホーム便りや、ご家族の来訪時に日頃の様子を伝えておられる。又、写真でご本人の表情等が伝えられるようにされている。紙の町でもあり、おむつ類はご家族に準備していただくようにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に情報交換できるよう、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。苦情に対しては速やかに対応し職員間で申し送りをしている。		運営推進会議、家族会、面会時に意見を頂いている。
			(外部評価) 誕生日にはご家族も招き、一緒にお祝いされている。又、家族会の開催については、場所や食事について、ご家族からも意見をいただき、開催の協力をいただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 法人の代表ミーティングにて職員の意見や提案を伝える機会を設けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事等には柔軟な対応が出来ている。不測の事態には職員間で協力し合い対応している。		今後も、限られた人数で対応していかなければいけないので、職員間で話し合い柔軟に対応していきたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動時は引き継ぎをしっかりと行い、他の職員がカバーしながら、利用者へのダメージを防ぐよう努めている。		
			(外部評価) 法人内の他グループホームに異動することもあるが、少人数の異動とされている。管理者は、職員の話をよく聞いておられ、職員の得意なことを発揮できるようにすすめておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内の研修や外部研修に出来るだけ多く参加している。		研修を受けた職員がミーティングで報告している。
			(外部評価) 県GH協議会の職員研修には、年間計画を立てて参加されている。又、法人も研修への参加を積極的に勤めてくださり、費用面の協力もある。母体法人内での定期的な研修では、感染症について等の知識を深められたり、事業所の地域とのつながりについての活動報告をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			相互研修、外部研修に参加し同業者との交流を持っている。		法人のグループホームや通所介護と交流を持っている。地域のグループホームの方とも交流できるようにしたい。
			(外部評価)		
			外部研修受講時に仲良くなった他事業所を見学させていただいたり、相互研修等で他事業所にうかがう機会を作っておられる。		市内のグループホームで定期的集まる等、情報交換ができるような機会を作ってはどうだろうか。さらにネットワークを拡げていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			院内旅行、忘年会、お花見など開催している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			半期ごとに個人目標を掲げ自己評価を行っている。資格取得の支援をしてくれ、研修にも参加させてくれる。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に本人、家族と会い出来るだけ多くの情報と、思いを聴くように努めているが本人自身から話されることはあまりない。家族からの情報が多い。入居後は日々の関わりを大切に、信頼関係を築けるよう努めている。		寄り添いを大切に、利用者の言葉や表情の変化を見逃さないように努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談を受けた時に、不安や困っていることをよく聴き丁寧に対応し、受け止めている。話しやすい雰囲気づくりに努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に本人、家族の話をよく聴き受け止め理解する。必要に応じ、市役所・事業所内のサービスの説明を行う。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 契約時に本人、ご家族から情報を頂き、安心して生活して頂けるよう、個別に寄り添う時間を持ち、不安を受け止めるよう職員間で話し合い、支援している。		ご家族の協力を得ながら馴染めるよう工夫している。
			(外部評価) 入居間もない頃は、ご家族が頻繁に来訪して下さるよう声をかけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中で、人生の先輩として生活の知恵を教えて頂いている。個々の出来ることを見極め、尊重し寄り添いながら、活躍出来る場面作りに努めている。		利用者の表情から気持ちの変化を観察し、悩みがあれば共有し、支え合う関係を築いていきたい。
			(外部評価) 職員は、利用者から台所の片付け方や料理について教えてもらったり、利用者の言葉や態度からやさしさや思いやりを学ぶこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者さんの身の回りの物を用意して頂いたり、通院時の同行、誕生会等行事の参加を呼びかけ、共に支えていく関係を築いている。		ご家族の状況を受け止めながら、家族の行事（祝事・法事等）に参加をお願いしていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時に話を伺いながら、本人と家族との関係を理解し、より良い関係が築けるよう努めている。		面会時に、家族と居室にてゆっくり寛いで頂いたり、暑中見舞い・年賀状を書いて頂くなど支援している。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人や家族から情報を得、今まで行っていた美容院に行ったり、お墓参りなどこれまで大切にしてきたものが継続していけるよう支援している。（近所の方が日舞の慰問に来て下さっている。）		さらに個別の支援が出来るよう、本人の思いや要望を受け止められるよう、日々の関わりを大切にしたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関わりを把握し、より良い関わりが出来るよう支援している。お茶の時間や、レクレーションなど一緒に楽しみ孤立しないよう関わりを大切にしている。		利用者同士の様子を見守りながら時には間に入りより良い関係が築けるように見守っている。利用者同士で不安な気持ちを話したり、食事の時に声をかけて下さる等互いに支えあえる関係を大切にしている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院先にお見舞いに行ったり、出来るだけ関係を持つように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、ミーティングで話し合いケアプランに活かせるよう努めている。		センター方式を利用し、本人の思いを知るよう努めたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々の長所や短所をよく知っておられる。又、お好きなことや嫌なこと等も理解しておられる。		事業所では、今後、センター方式を利用して、個々の現在の様子やこれまでのことを探っていきたいと考えておられた。よりご本人らしい生活を支援するための介護計画作成に反映していかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活歴について、日々の会話の中で聞いたり、家族から聞き把握できるように努めている。		今後もセンター方式や日々の会話の中から引き出し、職員全員で思いを把握できるようにしたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの一日の過ごし方の中から、残存機能、能力、心理的な部分を把握するよう努め、介護記録、日誌、申し送りなどで職員間で共有している。		一人ひとり有する力を発揮できる場を提供出来るように努めている。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人・家族と担当でカンファレンスを開催し、本人の思いに添えるようミーティングで検討し計画作成に努めている。		本人の思い・家族の意見を介護計画に反映できるように日々の寄り添いや面会時にお話しを聴くよう努める。カンファレンスに家族が参加して頂けるよう今後もお願いしていきたい。
			(外部評価)		
			家族会の後等、機会を捉え、ご家族にも参加いただき介護計画について話し合われている。日々の記録には、計画に沿った支援にしろしを付けて、経過が分かりやすいようになっていた。		事業所では、「その人らしく張り合いのある暮らしが続けられるような支援」を目指しておられる。利用者個々の生活歴や個々の個性等を十分活かした、アイデアの豊富な介護計画を作っていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画期間は3ヶ月毎の見直しを行っている。変化が生じた時はその都度話し合い介護計画を立てている。		
			(外部評価)		
			退院された利用者へは、日常生活の中でリハビリが出来るよう、計画を見直す等されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日記入している個別の介護記録に計画に沿った出来事や気づきなどを記入し、重要なことは日誌等で送り職員間で共有している。		簡単、明瞭な記録の仕方・様式を職員間で話し合い検討している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に合わせ柔軟な対応を行えるよう心がけている。		法人の病院・グループホーム・通所介護との交流を行っている。(通所介護の参加は人数の調整もあり難しい時もある)
			(外部評価)		
			ご家族の都合がつかない場合には、職員が病院受診に同行されている。本を借りに市の図書館に出かけられたり、買い物等、希望に合わせて出かけておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 専門学校の学生ボランティアや地域の方の(フラダンス・大正琴・踊り・手品)慰問の協力を得ている。		運営推進会議等で地域の行事を教えていただき出来るだけ参加している。今後は消防・教育機関との交流に取り組みで行きたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 同法人の認知症対応型通所介護があり利用しているが、他のサービスは利用していない。		本人の意向があれば他のサービスの利用が出来るよう支援していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂き交流を持てるようにしている。		本人の意向や必要性に応じて地域包括支援センターと相談し支援できるように取り組みで行きたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族が希望するかかりつけ医にて受診している。また専門医の受診が必要な時は家族と相談の上病院を選んで受診している。		法人の病院が緊急時等いつでも対応できるようになっている。
			(外部評価) 受診連絡帳を作り、ご家族が受診に付き添われる際、事業所での普段の健康状態や様子を病院に伝えられるよう、工夫されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 同法人の病院には認知症専門医はいないが相談に乗って頂き、専門医に受診できるよう支援している。専門医が主治医の方もおられる。		家族・主治医と相談の上、専門医の受診が必要な時は、職員も同行させて頂きホームでのようすを伝えていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 近隣の通所介護の看護職員に相談し、健康管理や医療活用の支援を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時にはホームの様子など情報を提供し早期退院が出来るよう病院と連絡を取り合っている。職員も面会に行き不安解消に努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) まだ重度化した利用者はいないが、できるだけ早い段階で本人、家族、主治医、施設長と話し合いを持ち、全員で方針を共有するよう努める。		同法人の病院で重度化した場合や終末期での受け入れ・対応が可能になっている。
			(外部評価) 医療が必要になった場合、法人内の病院で受け入れ可能となっている。又、ご家族の協力のもとであれば、事業所で最期まで支援できることを入居時に伝えておられる。		さらに、重度化や看取りについてはご家族も心配なことでもあり、事業所の方針を示し、ご家族に説明されてはどうだろうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人、家族の意向を大切に、主治医とも相談「できること、できないこと」を見極め支援に取り組んでいきたい。		今後の課題として、終末期についてどのように迎えるか、本人・家族と話し合いの機会を持ちたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 自宅に帰る場合はケアマネジャー・サービス業者に対し情報を提供し話し合いの機会を持っている。入院された時も情報を提供し出来るだけダメージの防止に努めている。		情報提供を行ったり、面会に行き出来るだけダメージの防止に努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) その人に合った言葉かけを心がけている。プライバシー、個人情報についても職員間で注意している。		日々の関わり方や声のトーンに気をつけているが、職員のペースになっている時は声が大きくなっていることがある。目標にも掲げているが「大きな耳・小さな口・優しい目」で常に対応できるよう職員間で気をつけたい。
			(外部評価) 職員は「利用者の気持ちに添えるよう」心がけておられ、個々の性格等も理解して接しておられる様子がうかがえた。又、明るい笑顔でやさしく対応をされていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いや希望を表わせるよう働きかけたり、わかるよう説明することにより自己決定出来るよう支援している。またゆっくり寄り添うことにより、思いや希望を酌み取るように努めている。		自己決定を促せる様な環境作りに努め、常にゆっくり待てる介護に取り組んで行きたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理な声掛けはせず、一人ひとりのその日の体調に合わせて支援するよう努めている。		利用者主体の生活が送れるよう職員間で意識統一しているが、職員側の意向をお願いしたり、職員のペースになっていることがある。その人らしい生活や希望が叶えられるよう支援していきたい。
			(外部評価) 利用者の方の動きに合わせて、職員がさりげなく声をかける等されていた。食事時、ゆっくり召し上がる方同士でテーブルを囲み、最後まで職員も一緒に支援されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 家族の協力を得ながら馴染みのある理容・美容院へ行っている。毎日お化粧される方や外出時に洋服を着替えたり、その人らしい身だしなみやおしゃれを楽しんで頂けるよう努めている。		寒さを訴えられ何枚も着ておられる方にはさりげなく声掛けし無理のないように調整させていただいている。今後もその人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援していきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備や片付けなどは、一人ひとりの力を活かし、寄り添いながら支援している。ホームの畑で収穫した野菜やご近所から頂いた季節の物を献立に取り入れ食事を楽しんで頂くように工夫している。		利用者さんの知恵を生かし、共に食事作りが楽しめるように努めたい。
			(外部評価) 食事一連の流れの中で、利用者の出来ることや興味のあること等にかかわれるよう支援されている。職員も利用者と同時に席に着き、一緒に食事をされていた。食材の話題や外の景色のこと等、会話も弾んでいた。今日の献立は、ホワイトボードに書かれてあり、食事前から話題に上がっていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) たばこやビール・ミニカップラーメンなど希望される時々楽しんで頂いている。おやつや飲み物など季節で楽しんで頂けるよう工夫している。		一人ひとりの好みを知り日常的な楽しみが増えるようこれからも取り組んでいきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターン表を活用し、トイレでの排泄、リハビリパンツからパンツへの移行、パット使用の軽減に努め、気持ちよく排泄できるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望通りに入浴させてあげたいと思うが、時間帯は職員の都合で日中にしか行えず、日曜日・イベントのある時以外は毎日入れるようにしている。入浴を拒否される方にも、タイミングや声掛けを工夫している。		入浴の時間は一対一でゆっくり交流できる場であり大切にしている。
			(外部評価)		
			利用者一人ずつ入浴されている。ベビーオイルでマッサージをすることもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個々の体調やリズムにあわせ、休息がとれるように支援を行っている。夜間不眠傾向の方には、日中の過ごし方に留意し、夜間良眠出来るように対処している。(外出・レクリエーション・家事など)		眠れない方には寄り添ったり、その時の状況により温かい飲み物を飲んで頂いたり、心の安定が得られるよう支援している。また馴染みの布団を使用している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			生活歴や趣味などを活かし、個々の力を発揮出来る場を持てるよう配慮している。(台所仕事・畑仕事・レクリエーションなど)		役割はそれぞれあるものの、個々の楽しみをもっと増やしていけるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			お正月には福笑いをしたり、初詣に行かれたり、節分には豆まきをされたり、巻きずしを皆で巻いておられる。又、ご自分の部屋のお花を選んで生けたり、読書の好きな方のために居間の本棚に本を準備され、その中から読んで読書をされていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望により(家族の同意のもと)財布を持っておられる方がいる。他の方は事務所で預かっており、本人の希望に応じてその都度使えるように対応している。		買い物などで楽しみを増やして頂けるように支援していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望に沿い買い物・散歩・お墓参りなど出来るだけ柔軟に対応できるように努めている。		今後もゆとりを持って、一人ひとりの希望に添えるよう、支援していきたい。
			(外部評価)		
			近くの「柏の木」まで散歩に出かけられたり、食材の買出しや、夜、イルミネーションを見に出かけることもある。外食に出かけたり、お正月には、ご家族の協力を得て、ご自宅で過ごされた方も数名いる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お花見・紅葉・地域のお祭り、行事など外出の機会をつくり出かけている。家族とともに出かける機会も無理のないよう協力を頂いている。		今後も本人の思いを知り行きたい所に行けるよう、また家族とともに出かける機会を持てるよう支援していきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望に添い電話をかけたり、手紙を書きやり取りできるよう支援している。		贈り物や手紙が届いた時は写真入りの葉書を送ったり、電話をかけお礼の気持ちを伝えられるよう支援している。今後も大切な人とやり取りができるよう支援していきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間の制限をせず、いつでも来て頂けるようにしている。面会時おやつ・食事を一緒にして頂いたり居室にて自由に寛いで頂けるように工夫している。		いつでも気軽に訪問して頂けるよう和やかな雰囲気づくりに努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		精神的な部分においても（スピーチロック）をしないよう、職員間で話し合ったり、研修に参加し拘束のないケアに取り組んでいきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は玄関の鍵をかけることの弊害を理解しているが、外出願望の強い方がおられ、安全第一に鍵をかけるを得ない。利用者の思いをくみ取り、買い物・散歩をほぼ毎日取り入れ工夫している。		これからも、利用者の安全と安心を考慮しながら鍵をかけないケアに取り組んでいきたい。
			(外部評価) 玄関の開閉でチャイムが鳴るようになってきている。居間からテラスに出られるようになってきている。		気ままに出かけられる利用者の方もあり、現在は、職員の人手が少ないような時には、鍵をかける時もある。運営推進会議時やご家族にも説明をされているが、開放的な雰囲気のある事業所でもあり、今後、安全にも十分配慮した上で、鍵をかけなくても済むような支援の工夫を考えてみてほしい。管理者は、利用者のさらなる気持の察知に努めていきたいと考えておられた。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在や様子を把握し、職員間で安全に配慮している。		外出願望の強い人は、排泄パターン表に所在確認の欄を設け、常に職員間で確認できるように取り組んでいる。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。		これからも、利用者の状態の変化に応じ職員全員が把握し対応していくことが必要である。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) インシデント・アクシデントの記録をし、職員間で申し送り、今後の事故防止につなげられるよう取り組んでいる。		リスクはどんな場面でもあることを、職員一人ひとりが意識し事故防止に取り組んでいくことが今後必要である。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルはあるが実際には訓練出来ていない。		定期的な講習会や訓練を取り入れたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回防火訓練を行っている。マニュアル・緊急連絡網が見えるところに置いてある。 (外部評価) 利用者も参加して、玄関から避難する訓練を行われた。お隣の住人の方が、いざという時には駆けつけてくれるようになっている。		日中の災害時には通所介護の職員の協力を得られるようになっている。運営推進会議にて、自治会の方の協力を得られるようお願いしている。今後も地域の方と交流を深め協力が得られるよう働きかけていきたい。 さらに、夜間やいろいろな災害を想定した訓練を重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについて、家族会や運営推進会議で説明し、家族の意向にも添えるよう心がけている。		既に起きたリスクについて家族に面会時・家族会・便りや運営推進会議で報告し、対応策や同意を得られるよう協力頂いている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックを行い体調の変化や異変発見に努め、異常時には速やかに情報を共有し対応に結び付けている。隣接の通所介護のナースに相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬袋に薬効を書き、変化のある時は日誌や申し送りで徹底している。		服薬ミスがないよう職員間で注意し、薬袋に名前・日付などを記載している。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄パターン表を活用し、排便の調整を食事・運動・服薬にて行っている。		便秘の方には、お茶ゼリー・ヨーグルト・果物などで調整を図り、逆に軟便や下痢の場合も食材に配慮している。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者個々の能力に合わせ、声掛け、見守り、介助を行い毎食後行っている。夜間義歯の消毒を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後食事量をチェックして記録している。利用者の状態（糖尿病・肥満など）に応じ食事量・刻みなど工夫している。 (外部評価) 同法人内の他グループホーム職員で栄養士資格を有する方が献立を作ってくれている。野菜ジュースを寒天でゼリーにする等、水分摂取や栄養面も考慮したメニューを立てておられる。又、旬のものや色合い等にも工夫して、食事作りをされている。		水分をあまりとらない利用者には声掛けやお茶ゼリーなどで水分補給を行っている。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症のマニュアルにて対応している。手すり・イス等塩素系の消毒薬で毎日消毒している。利用者・職員共にインフルエンザの予防接種は受けている。		研修に参加し職員間で共有するようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>新鮮で安心な食材の使用と管理に努め、調理者の手洗いの徹底・調理器具のハイター消毒・煮沸消毒による清潔を心がけている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家庭的な雰囲気作りを心がけ、花を植えたり、生けている。玄関はスロープと手すりがついており安心して出入りが出来るようになっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を生けたり五月人形・七夕・クリスマス等家庭環境に近づけ季節感を味わえるよう心がけている。</p>		<p>各行事・お出かけの写真を廊下に貼り楽しんで頂いている。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員の気付きで、トイレの目印を利用者が見やすく分かりやすいよう工夫された。共用空間には、行事時の写真がところどころに掲示されており、お雛様も飾られていた。いろいろな種類の椅子が配されており、カウンターキッチンや段差のある畳の間等、造りに工夫がなされていた。</p>		<p>さらに、現在、部屋を間違える方もおられるとのことであり、目印等の工夫についても話し合いを重ねていかれてほしい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれが居場所を確保し自由に過ごせるように工夫している。暖かい日にはウッドデッキで日向ぼっこも出来るようになっている。</p>		<p>居室で本を読まれたり、畳の部屋に腰をかけるなどその時々状況を配慮して一人にしてあげたり、寄り添ったりしている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人、家族と相談し、馴染みの寝具やタンス・テレビ・こたつなどを使用、家族の写真を飾ったり工夫している。		殺風景な居室もあり、馴染みの物を置きたいと思うが置物など全部どこかに片付けられるため本人・家族と相談し検討していきたい。
			(外部評価)		
			居室は、洗面台やタンス、ベッドが準備されており、寝具等が持ち込まれていた。中にはご家族の写真やテレビを持ち込まれている方もあった。洗面台にはご自分で生けた花が飾られており、窓を開けると植物を置けるようなスペースもあり、お花の世話をしている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度調節・換気を行い空気よどみがないよう配慮している。夜間も冷暖房にてこまめに調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下・トイレ・浴室など手すりがついており安全な生活が送れるよう配慮している。		どういう場面での危険が高いのか常に目配りし、危険場所を見つけ次第安全に生活できるよう工夫している。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室の入口には写真と名前を掲示している。それでもわかりにくい方には声掛けをしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			専用の畑があり隣の方の協力により、たくさんの野菜が収穫できた。ウッドデッキや洗濯干し場では利用者さん自ら洗濯物を干したり、取り入れたりも可能で、煙草を楽しまれる方もいる。		季節の花を植え切り花にして居室などに生けている。各居室の窓際の鉢置きを活用して花を楽しめるようにしていきたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②利用者の2/3くらいの評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	寄り添うケアにより、思いや願いを大切に、毎日の生活を支援し、願いを叶えられるよう取り組んでいる。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつの時間にみんなでゆっくり過ごすようにしている。また入浴・買い物など一対一で過ごす時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ②利用者の2/3くらいが評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの生活のペースを把握し、それぞれに合わせた暮らし方を支援できるよう取り組んでいるが職員や他の利用者のペースになっていることがある。今後さらに個々の生活ができるよう支援したい。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己 ②利用者の2/3くらいが評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の寄り添うケアにより生き生きとした表情や笑顔が感じられる。一人ひとりの得意とすることを一緒に楽しめるよう支援していきたい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ③利用者の1/3くらいが評価) 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての利用者の希望通りには出来ていない。職員とお墓参りや買い物・地域の行事に参加し戸外に出かけられるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝のバイタルチェックにて異常の早期発見に努めている。経営母体が病院ということで、体調不良の場合いつでも受診できるようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 ②利用者の2/3くらいが評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や要望に応じた柔軟な対応を心がけ、安心して生活して頂けるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己 ②家族の2/3くらいと評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	職員は家族が困っていること、不安なことを面会時に聴くように努めている。面会によく来て頂ける家族とは信頼関係が出来てきていると思う。今後も何でも話して頂ける雰囲気作りを大切にしたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ③たまに評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	家族以外の訪問が少ないが、学生ボランティアや輪の会(踊り)など毎月慰問して下さる。また近隣の通所介護との交流を持っている。今後地域の方が気軽に立ち寄って頂けるよう取り組んでいきたい。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議にて地域の行事など教えて頂き、出来るだけ参加するようにしている。地域の行事に参加することにより、そこで知り合った大正琴・フラダンスの方が慰問に来て下さった。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務改善を進めながら働きやすい職場作りを目指す。人間関係が円滑なるよう支援していきたい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の生活のようすや表情を見ていると大きな不満を感じているとは思えないが、今後も利用者さんの笑顔が多く見られるように取り組んでいきたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や運営推進会議で喜んで下さっている意見を聞くが全体的な判断は難しい。本音を話して下さるような信頼関係を築いていきたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

広い窓から四季の風景を眺めることができ、天候や自然の移り変わりがよく分かり、畑・花壇・ウッドデッキとゆったりとした環境の中「いつも一緒・楽しく・ゆっくりと」「明るいあいさつ」を心がけ利用者様との生活を楽しくしています。
一緒に買い物に行き、バランスのとれた食事を利用者さんと一緒に作り食事を楽しくしています。
利用者の好きなこと楽しみごとを見つけ、張り合いのある生活を送れるよう支援しています。
(ホームの畑で野菜作り。近所の方が折に触れ指導して下さい。)
排泄パターン表を活用し気持ちの良い排泄が出来るよう取り組んでいます。
地域の行事・季節の行事など外出に機会を多く持っています。
経営母体が病院のためいつでも受診でき、健康面も安心して生活が送れます。